

会場は東北学院大学です (1p 参照)。

総合受付は体育館1階ロビーです。講演会場は2号館および体育館です。会場間の移動の際にはこのことを十分お含み置き下さい。

応用物理学会スクールは、9月3日(金)に開催します。(11p 参照)。

プログラム編成の都合により、一般講演の中には講演申込みの際の希望分科によらないで、編集されているものもあります。お申込みの講演が希望分科に含まれていないようでしたら、関連分科をお調べください。

この講演会では口頭講演の場合、一部のシンポジウムおよび予め指定された一般講演を除き、オーバーヘッドプロジェクター(OHP)のみを使用します。液晶プロジェクターは使用できません。講演される方はこのことを十分念頭に置かれて準備に当たってください。OHPの使用に関するご案内をご覧ください。(15p 参照)

ポスターセッションでは一部を除き1講演につき5分の口頭講演(ショートプレゼンテーション)を行います。(15p 参照)

会期中、電話のとりつぎはいたしません。ただし呼出しビラの掲示による連絡は行っておりますので、ご利用ください(申し込みは大会本部)。

### 参加費について

学術講演会に出席される方は参加費:応用物理学会正会員4,000円、会員外6,000円、学生2,000円を総合受付にてお払いこみください。

なお、APS (American Physical Society), EPS (European Physical Society), IOP (Institute of Physics), EDS (Electron Devices Society/IEEE), LEOS (Lasers and Electro-Optics Society/IEEE), OSA (Optical Society of America), KPS (Korean Physical Society) 会員は応用物理学会正会員扱いとなります。

参加費をお払いこみの方には参加票挟み込みの予稿集第0分冊[シンポジウム予稿と全分冊の予稿目次(分科別プログラム)を含む]1部をお渡しいたします。なお、同第0分冊を予約されている方は、当日予約受付にて引換券を提出してください。第0分冊(参加票挟み込み)をお渡しします。参加票には各自ご記名いただき会期中胸ポケットにつけておかれるようお願いいたします。

### 第16回応用物理学会「講演奨励賞」贈呈式(公開)

と き 平成16年9月1日(水) 11:30~12:30  
と ころ 東北学院大学泉キャンパス 2号館5F-257(ZS会場)

### 応用物理学会評議員・代議員合同会議

と き 平成16年9月1日(水) 16:30~17:30  
と ころ 東北学院大学泉キャンパス 1号館4F 会議室

### 第26回応用物理学会「論文賞」授賞式

と き 平成16年9月1日(水) 17:30~18:10  
と ころ 東北学院大学泉キャンパス 1号館4F 会議室

### 懇親会

参加者の親睦をはかるため、気軽な懇親会を計画いたしました。ふるってご参加ください。(定員250名、定員になり次第締切ります)

と き 平成16年9月1日(水) 19:00~20:30  
と ころ 仙台国際ホテル(仙台市営地下鉄仙台駅徒歩5分)  
仙台市青葉区中央4-6-1

会費・申込 2,500円 当日正午までに総合受付へ

### 展示会

恒例により、本講演会開催に併せて学内において展示会を開催します。気軽にご来場ください。

と き 平成16年9月1日(水)~4日(土)  
(最終日は正午まで)  
と ころ 東北学院大学泉キャンパス 体育館

### 講演予稿集について

4分冊頒布となっています。(頒布方法については本誌7月号に掲載)分冊内容と頒価は下記の通りです。なお、第0分冊予約には参加費が含まれています。

	4分冊:各分冊ともA4判, シンポジウムは1頁2件, 一般は1頁3件の予稿を掲載		
	含まれる分科および内容	予約頒価 (1冊)	即売頒価 (1冊)
※ 第0分冊	全シンポジウム, 全分冊の予稿 目次(分科別プログラム)	正会員 3,000円 学生 1,000円 会員外 6,000円	正会員 4,000円 学生 2,000円 会員外 6,000円
第1分冊	放射線・プラズマエレクトロニクス, 計測・制御, 応用物性, 超伝導, 結晶工学, 応用物理一般, 合同セッションD・E・F・G・H・J・K	3,500円	4,500円
第2分冊	薄膜・表面, ビーム応用, 半導体A(シリコン), 非晶質, 合同セッションD・F・H・K	3,500円	4,500円
第3分冊	光, 量子エレクトロニクス, 光エレクトロニクス, 有機分子・バイオエレクトロニクス, 半導体B(探索的材料・物性・デバイス), 合同セッションE・F・G・J	3,500円	4,500円

- ※前出「参加費について」をご参照ください。
- 0分冊(参加費)は、会員および学生/非課税、会員外/内税です。1~3分冊はすべて内税です。
- 合同セッションについては、19, 20p 参照。
- 予約郵送(事後)の場合は他に郵送料(諸掛かり含む)がかかります。
- 予約申込をされなかった方は当日早目に即売にてお求めください。なお、予約された方は引換券(応用物理学会より送付したものを必ずご持参ください)。

### インターネット対応について

会場となっている2号館2階から廊下で連絡できる情報処理センター(5号館3階)内の531演習室に、インターネットアクセス可能なPC端末(50台)を用意いたしました。OSはWindowsXPで、記憶媒体はFD, CD-R, CD-R/W, USBメモリが利用できます。利用期間と時間帯は、9月1日~3日の9:00~16:00とさせていただきます。またノートパソコンに接続できる情報コンセントは、2号館に隣接する3号館2階の32A, 32B教室(各40口, DHCPサーバ利用)に用意いたしました。wwwブラウザ(インターネットエクスプローラに限定)によるウェブ(ウェブメール)の利用とマイクロソフト・オフィスが利用できます。なお、本学では接続ケーブル、コネクタなどは用意いたしませんので、あらかじめご用意の上ご利用ください。

### 駐車設備について

学内および周辺には、駐車できる敷地・設備はありません。ご注意ください。

### バリアフリー対応について

泉キャンパスは基本的に全教室バリアフリー対応になっています。体育館は別のスロープつきの入り口から入館することになりますが、2階に上がっていただく補助が必要になりますので、総合受付にお問い合わせください。

### 営利目的の宣伝活動について

事前申請された事業者以外の展示営業活動はご遠慮ください。

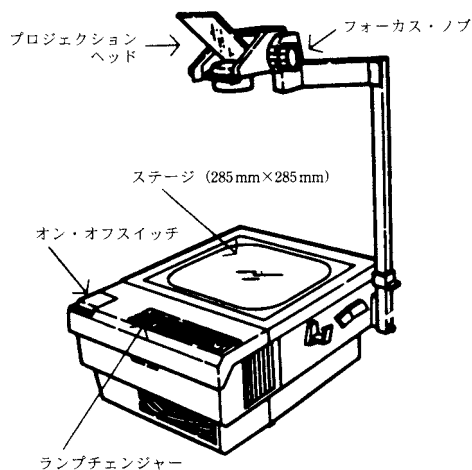
### 撮影、録音について

講演発表の撮影、録音はできません。

## 1. OHP使用に関して

口頭講演(ショートプレゼンテーション含む)は一部のシンポジウムおよび予め指定された一般演題を除き、すべてオーバーヘッド・プロジェクター(OHP)を使って行います。講演される方はこのことを十分念頭に置かれたうえ、OHPフィルム作成(OHPは透過型ですので、透明フィルムでないと写りません)など準備に当たってください。以下は基本的な原稿の作成方法、OHP使用方法に関するご案内です。

フィルム用原図の作成



OHPの投影可能面積は285×285mmです。図面・原稿はA4サイズが一般的です。文字・数字はできるだけ太く、大きく書くよう努力してください。

OHPフィルムの使用

次のような方法があります。

- ① 通常の乾式複写機を用い、OHP用透明フィルム(複写機用フィルム)に直接複写する。
- ② OHP専用複写機を活用する。
- ③ OHP用透明フィルムに直接専用ペンにて手書きで書き込む。

右記のポスターセッションの分科では、それぞれ別会場にて5分の口頭講演の場を設けることにしました。このショートプレゼンテーションは発表者には多少の負担となりますが、ポスターセッションの始まる前に行われますので、発表者の側においては発表の対象者が広がることになり、また聴講者においても、その全体の概要を予め知るうえで助けになるものと思われま

す。この5分講演は右記のとおり行なわれ、引き続いて同日にそれぞれのポスターセッションが行われます。これに当たっている講演者は各自の講演日時を必ず確認され、登壇時間に遅れることがないようにご協力をお願いします。

## 5. ショートプレゼンテーション (5分講演)

中分類分科名	月日	講演番号	ショート	ポスターセッション
1.5 プラズマプロセスによるナノテクノロジー	9/3(金)	3a - S - 1~14	9:30~10:40	15:30~17:30
1.6 プラズマ現象一般	9/3(金)	3a - S - 15~31	10:55~12:20	15:30~17:30
3.3 機器・デバイス光学	9/3(金)	3a - E - 1~24	10:00~12:00	13:00~15:00
5.1 半導体レーザー・発光素子	9/1(水)	1a - ZN - 1~35	9:00~12:05	15:30~17:30
7.4 ビーム励起表面反応	9/1(水)	1a - B - 1~21	10:00~11:45	13:00~15:00
9.1 基礎物性	9/2(木)	2a - A - 1~31	9:05~11:55	13:00~15:00
10.2 評価・基礎物性	9/2(木)	2a - N - 1~35	9:00~12:10	15:30~17:30

4.3 レーザー装置・材料, 6.5 表面物理・真空, 8.6 新機能材料・新物性, 11.5 Siプロセス技術, 12.1 探索的材料物性, 13.3 III-V族エピタキシャル結晶, 15.2 教育のポスターセッションではショートプレゼンテーションは行われません。

5分講演におけるOHPシート使用の大体の基準は2または3枚程度です。これに当たっていただく座長は講演が定められた時間に終了するよう是非見守っていただきたいと思います。

なお、この講演では討論は行われません。発表者の講演時間は厳守となります。5分の持ち時間終了のベルが鳴った時はただちに講演を中止してください。時間を有効に使いたいと思いますので、発表者は前の講演が終了すると同時にただちに登壇できるよう備えていただきたいと思います。

使用方法

左図OHPのステージにフィルムをのせて、スイッチを入れると、スクリーンに映写されます。これは講演者各自で操作いただくこととなります。講演中、映像の一部を指示したいときはペンや鉛筆でステージ上のフィルムを指してください。ただし、講演者の位置によっては聴講者の視界を妨げる場合がありますので、そのようなときは適宜スクリーン上の映像を利用して指示してください。万一、講演中ランプが切れた場合、ランプチェンジャーをスライドしてください。以上の点に考慮していただければ、あとは学会側で講演が円滑に行われるよう準備いたします。

## 2. 講演時間について

各会場の講演がプログラムどおり進行し、聴きたい講演を予定の時刻に行けば聴くことができるようになっていることが望ましいわけです。この要請をある程度満たすためにつぎの方法により講演時間などを調整することとしました。

- a. 原著発表の講演時間は10分とする。
- b. 題目の討論時間は5分とする。
- c. 座長は休憩時間開始時刻ならびに午前、午後の講演終了時刻までに定められたプログラムを終了するように時間を調整する。
- d. 講演開始、昼食時刻などは講演分科日程表・本文のとおりとする。(午前の座長のみ前半、後半を通じ一人の方をお願いすることにしています。)シンポジウム講演、受賞記念講演については一律に規定しがたいのでプログラムに定められたとおり実施する。

## 3. 講演時間の合図について

第1鈴：講演予定時間終了の5分前

第2鈴：講演予定時間終了のとき

第3鈴が鳴ったときただちに講演を中止していただきます。

## 4. 講演開始時間・昼食時間について

午前・午後の講演開始時間は、会場により異なりますので十分ご注意ください。

(講演分科日程表・本文でご確認ください)

## ■ ポスターセッションのご案内

ポスターセッションは右記分科において実施します。

ポスターセッションは研究成果をポスター(図表, 写真を含む)の形にまとめて, これを指定されたパネルに展示することによって行われるセッションです。この方式による発表では, 発表者と参加者との実質的な深い議論が期待でき, 参加者は聞きたい講演のみに集中して聞き歩きできる利点をもっていますので, 研究者相互の理解には一層, 助けになるものと思われまます。

展示方法, 発表要領は次のとおりです。

大分類分科名	中分類分科名
1. 放射線・プラズマエレクトロニクス	1.5 プラズマプロセスによるナノテクノロジー
	1.6 プラズマ現象一般
3. 光	3.3 機器・デバイス光学
4. 量子エレクトロニクス	4.3 レーザー装置・材料
5. 光エレクトロニクス	5.1 半導体レーザー・発光素子
6. 薄膜・表面	6.5 表面物理・真空
7. ビーム応用	7.4 ビーム励起表面反応
8. 応用物性	8.6 新機能材料・新物性
9. 超伝導	9.1 基礎物性
10. 有機分子・バイオエレクトロニクス	10.2 評価・基礎物性
11. 半導体A(シリコン)	11.5 Siプロセス技術
12. 半導体B(探索的材料・物性・デバイス)	12.1 探索的材料物性
13. 結晶工学	13.3 III-V 族エピタキシャル結晶
15. 応用物理一般	15.2 教育

※: 全てがポスターセッションではありません。ご注意ください。

### 1 展示方法

- イ) 備え付けのパネル(1講演につき, たて120cm, よこ180cmのパネル)が用意されています。あらかじめ講演番号, 講演題目, 所属, 氏名を記入した用紙(たて15cm, よこ85cm)を各自が用意し, これをパネル上部に取り付けてください。
- ロ) 次にパネルに, 各自が用意したポスター, 図表, 写真などを, 例えば研究目的, 研究方法, 研究成果といった順に適宜レイアウトして掲示してください。
- ハ) ポスターの大きさ, 形式は問いませんが, できるだけ見やすく, 大きく書いてください。その際ポスターがパネルにうまく収まるように, あらかじめポスターの割り付けを検討しておくとう便利です。
- ニ) すべての掲示は本部で用意したピンで行ってください。糊の使用はご遠慮ください。

### 2 発表要領

イ) 展示持ち時間120分(準備20分, 撤収10分)

	午前のセッション	午後のセッション	
準備	9:10~9:30	12:40~13:00	15:10~15:30
説明・討論	9:30~11:30	13:00~15:00	15:30~17:30
撤収	11:30~11:40	15:00~15:10	17:30~17:40

- ロ) 展示時間のうち, 講演番号の順番が奇数の方は前半の1時間, 偶数の方は後半の1時間はその場を離れないようにして説明, 討論を行ってください。コアタイム(拘束時間)以外の時間についても, できる限りその場において, 討論を行えるよう努めてください。連名者があって二人以上で出席できる場合は, だれか一人は常にその場において説明・討論をしてください。
- ハ) 展示持ち時間が終了したら, 直ちに講演者各自でポスターをとりはずし, 持ち帰ってください。

## ■ 講演番号について

(例)

1a-A- /III

- 1 .....→この講演番号は1a-A-1 /IIIです。この講演番号の意味は下記の通りです。
- 2
- ▲3 .....→▲3の▲印は英語による発表です。
- △4 .....→△4の△印は講演奨励賞申請の発表です。

1	a	A	1	/III
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
講演日	午前(午後 はp)	会場名	順番	予稿集分冊

会場名がP1, P2, P3, ……P12とあるのはポスターセッションのみ。(ポスターセッションの場合, ショート講演が有る場合と無い場合があります。15頁でご確認ください)

会場の呼称 A. B. C. D. …… Y, ZA, ZB, ZC, ZD. …… ZW